

第 8 3 回日本産業衛生学会 シンポジウム 3
「有機溶剤中毒と生物学的モニタリング研究の過去と現在、未来」

日時 平成 22 年 5 月 26 日 (水) 14:20-17:00

場所 福井県国際交流会館 第 10 会場 (特別会議室 140 名収容可能)

次第

座長 市場正良 (佐賀大学医学部社会医学講座 教授)

野見山哲生 (信州大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授)

14:20-14:40 有機溶剤中毒 特にベンゼン中毒について

原一郎 (関西医科大学 名誉教授)

14:40-15:00 有機溶剤中毒 特にノルマルヘキサンについて

竹内康浩 (名古屋大学 名誉教授)

15:00-15:20 カドミウム負荷の現状把握

池田正之 (京都工場保健会 理事)

15:20-15:40 重金属中毒と生物学的モニタリング

櫻井治彦 (中央労働災害防止協会 技術顧問)

15:40-15:50 休憩

15:50-16:10 疫学研究における生物学的モニタリング利用の課題

大前和幸 (慶應大学医学部衛生学公衆衛生学教室 教授)

16:10-16:25 新しい視点からの有機溶剤中毒

一トリクロロエチレン中毒を中心に

那須民江 (名古屋大学大学院医学系研究科環境労働衛生学 教授)

16:25-16:40 大気輸送モデリングと PBPK の融合：モニタリングから予測へ

小泉昭夫 (京都大学大学院医学研究科環境衛生学 教授)

16:40-17:00 総合討論

尚、本シンポジウム終了後、引き続き有機溶剤中毒研究会、生物学的モニタリング・バイオマーカー研究会の合同研究会を開催致します。

17:15-17:45 有機溶剤中毒研究会、生物学的モニタリング・バイオマーカー研究会合同研究会